

## 日本赤十字社との出逢い

日本赤十字社との出逢いの一つ目は、私には身体障碍の叔母がいました。その叔母が入院している時、阪神淡路大震災があり、病院では受け入れる患者さんが数多くある中で、先生方をはじめ、以前から入院している人も新たに來られた方々も、みんなが一丸となって震災を乗り越えてこられました。

二つ目は、今から2年前に母が交通事故に合い、今すぐにでも命が亡くなっても不思議ではなかった状態でしたが、少しでも母親との時間をあげたいとの先生方や看護師さんたちの温かい心遣いで、母との最期の時間をいっしょに過ごさせていただきました。

三つ目は、私は今から6年前ぐらいに大病を患いました。その時、神戸赤十字病院で手術を行うことになり、手術前にも先生方や看護師の方々が「頑張って家に帰りましょうね」「元気な体になりましょうね」と、沢山の温かい言葉をかけていただきました。私の意識がまだはっきりしていなかったのですが、術後すぐに看護師さんが「長い時間の手術、良く頑張りましたね」と、手を握り、声をかけていただいたことは今でもはっきりと覚えています。ありがたかったです。その温かい先生、看護師さん、食事やお掃除、薬を調合してくれた全ての方々、ありがとうございました。色々な方々のお陰で今の私があります。心から感謝しています。日本赤十字社の活動を心から応援しております。

このたび、私と日本赤十字社の出逢いのことを話す機会を与えていただきありがとうございました。

神戸市 K.M